

症候性頭蓋内動脈狭窄症例に対する 経皮的血管形成術（PTA）の治療成績の検討

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2019 年 7 月 22 日から 2019 年 9 月 30 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

症候性頭蓋内動脈狭窄症に対しては、様々な研究報告から積極的内科的治療が最優先され、PTA は慎重に選択される必要があるとされています。当院では「症候性かつ内科的治療抵抗性の症例」を対象に実施しており、当院での実施症例における治療成績を検討することで、適切な症例選択、治療法を明らかにし、今後の治療に役立てる目的があります。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2014 年 1 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日の間に、バルーン PTA を施行した内科的治療抵抗性かつ症候性の頭蓋内動脈狭窄の患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、性別、既往歴、抗血栓薬の服用状況、狭窄した血管の状況、随伴する症状、治療方法、検査・治療の結果などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・波多野 武人の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申

し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 脳神経外科 担当者 阪本 宏樹
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）